NPO 法人クッキープロジェクト　2020 年度　事業報告書

2021 年 8 月 20 日

事業の成果と課題

●オンラインにおどった１年

対面販売大好き！みんなでご飯をシェアして食べたい！まぜこぜで働きたい！そんなクッキープロジェクト。でも、この１年は、非対面の「オンライン」ばかりでした。

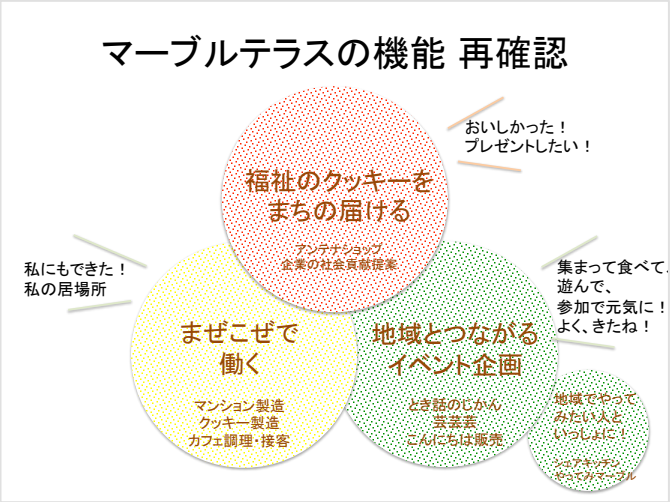
おかし屋マーブルは感染対策のため、まぜこぜボランティアの参加を休止せざるをえず、それでもシェフ弁だけはフェイスシールドをつけることで９月に再開しました。

飲食店としてのマーブルテラスは、感染拡大の波と客数が常に反比例、PR にも苦労しました。秋以降、徐々に常連客に恵まれたと思ったら・・・また緊急事態宣言。それでも少しずつお客さんが増えている手応えはありますし、仕事に慣れつつあります。

各地の作業所は、イベント販売の機会がなくなり売上ダウンの現状に、「おかし屋マーブルオンライン」を開設、顔の見えないお客様に期待と恐れをもちつつ、新たな販路開拓中です。

●「マーブルテラス」１年目の就労体験プログラム

新拠点「マーブルテラス」には、３つの機能　１）福祉のクッキーをまちに届ける　２）まぜこぜで働く　３）地域とつながるイベント企画　があります。１）についてはバザールやおかし屋マーブルでの経験がありましたが、２）のまぜこぜで働くは、いままで経験のない分野で、マンション清掃や、カフェのお皿洗い、フリー珈琲など、どのプログラムも仕事のシェアの方法など迷いながらの運営でした。３）地域とつながるイベント企画は、計画しては中止が続き、気持ちが消耗するばかりでした。そんな中でささやかな集まりをつづけた「スタジオ芸芸芸」は、働く場面とはちがう「余暇活動」としての出会い方によって、その人の新たな一面を発見する魅力あるイベントで、クッキープロジェクトらしい取り組みとなりました。



●　期待と展望

コロナ禍という特殊な環境でしたが、常勤スタッフの並々ならないがんばりと、非常勤スタッフやボランティアの参画に元気づけられ、家賃支援金や雇用調整助成金にも助けられ、なんとか乗り切れました。買って食べて応援してくださった会員のみなさまにも、感謝の気持ちで一杯です。

事業収支は、この状況が続くことは本当に厳しいです。2021 年度は、埼玉県から受託していた事業「しごと準備講座・カフェ」も廃止になり、収益事業をどのようにつくって、本来やりたい「まぜこぜのしかけづくり」を継続できるのか悩みどころです。地域に開かれた新拠点「マーブルテラス」をより所に、新たな道を開いてまいります。

わからないから、はじめよう！さあ、ご一緒に。
今後ともご支援よろしくお願いいたします。

NPO 法人クッキープロジェクト　代表理事　若尾明子

運営の報告　　2020 年 7 月～2021 年 6 月

会員数：正会員　24 人（前年度 24 人）
サポーター個人（賛助会員）57 人　（前年度 69 人）
サポーター法人（賛助会員）　16 団体（前年度 13 団体）
寄　付：**のべ** 21 件　105,152 円（前年度のべ 78 件 1,108,570 円）

理事会開催：第 1 回　2020 年 7 月 14 日　第 2 回　2020 年 11 月 10 日　第 3 回　2020 年 4 月 28 日

Ⅰ　特定非営利活動に係る事業

１．　福祉でまちづくり事業

1-1　講座・バザール　　３月 12～14 日@浦和コルソ、４月@オンライン

● 目的：

「かわいそうだから買ってあげる」ではなく、「プレゼントしたくなるクッキー」を目指して、福祉の商品の向上を図るとともに、その成果をお披露目する販売会を開催する。

今年度は、ZOOM を利用した情報交換会、浦和の対面販売に加えて、新たな販路「オンラインバザール」も開いた。

● 内容：

１．**オンライン情報交換会**　対象：おかし屋マーブル取引団体など

第１回　９月 16 日　テーマ「販路どうしてる？」11 団体参加
第２回　12 月４日　テーマ「オンラインショップを知る」
　　ゲスト：事例報告／晴れ晴れ　椎木芳恵さん
　　アドバイザー／星野邦敏さん（(株)コミュニティコム代表取締役、クッキーPJ 理事）

２．**クッキーバザール実行委員会＆バザール**

実行委員会	第１回　１月 13 日（水）17:00～18:00　バザールの準備　ZOOM
	第２回　２月４日 ＆ 10 日 17:00～18:00　納品方法など事前説明会　ZOOM
	第３回　３月 22 日 17:00～18:00　浦和バザール報告＆オンライン作戦会議　ZOOM
	第４回　５月 19 日（木）オンラインバザールのふりかえり　ZOOM
バザール	浦和コルソ　３月 12～14 日　３日間　ボランティア　のべ 52 人 オンライン　４月 27～30 日配送　ボランティア　のべ 14 人　25 作業所参加、総売上 170 万円

●**協力団体等**　浦和コルソ、富士ゼロックス埼玉端数倶楽部、CHICACU Design Office &Bookstore

●**協賛**

大宮アルディージャ　毎日興業株式会社　TAMRON　一般社団法人 埼玉県知的障害児者生活サポート協会　Office 7E　貸会議室 シェアオフィス 6F　GITARRE&ERST　SETAGAYA-SYA　一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会　武蔵野銀行　ファインモータースクール　合同会社 橘　(株)森島工務店　ペット便　co-op 埼玉県生活協同組合連合会　pal*system　デンダ歯科クリニック　OKUTA

● **メディア**

jcom、NHK、テレビ埼玉、読売新聞、埼玉新聞等

● **課題と展望**　（担当：若尾）

- ZOOM のおかげで、県北など遠い作業所にも会議に参加いただき、対面販売の機会が減り、売上が大幅ダウンしている現状などを情報共有できた。
- 浦和は例年 100 人超ボランティアでにぎやかな売り場だが、今年は少人数での運営に。
- 来場者数が読めず出品数を抑えた作業所あり、最終日は商品が不足した。
- ONLINE は、WEB 作成、広報、梱包など、苦労も多かったが、メディアの反響もあり、福祉商品を買って食べて応援したいという潜在的な客層がいることを実感できた。今後は動画なども組合せて福祉商品の魅力を発信してきたい。

1-2　おかし屋マーブル（@埼玉県立小児医療センター）

● **目的**：

障がい者の手づくり品の「アンテナショップ」として、高度医療を必要とする子どもたちとその家族の方たちに、「障がいがあっても多様な人がいるからおもしろい」とのメッセージを届けるとともに、来店してくれる方たちが、少しでも「ほっ」とできたり、笑顔になれるお店を目指して運営（2017 年 1 月 5 日開店）。

●**内容**：＜運営 5 年目＞

- 埼玉県立小児医療センター（2021 年 4 月に地方独立行政法人に改組）2 階にある常設のおかし屋。有償スタッフ 2 名（店舗責任者週 4 日、アルバイト週 1 日）とボランティア 3 名で運営。
- 買い物とおしゃべり＆立ち話で「まぜこぜ」へのきっかけづくり
- 患児ママたちの活動パンフ、作業所イベントのチラシ、小児医療センター実施アンケートやチラシ配布の協力・掲示による「情報交流」
- 「マーブルテラス」のお弁当販売（水・金、2020 年 6 月~）
- PR パンフレット印刷（500 部・7 月）
- コロナのため時短営業中（10～15 時）、ボランティアとの「まぜこぜ」運営は休止している。「しごと体験の場」は、10・11 月に 3 名受け入れた。

＜取引事業所数＞　※単発や催事の入荷団体を含まない

	2017 年 1 月 オープン時	2017 年 6 月 末	2018 年 6 月 末	2019 年 6 月	2020 年 6 月末	2021 年 6 月末
焼き菓子等（買取）	１２	１８	２２	２４	２３	２５
パン（買取）	0	3	1	1	1	1
弁当（委託・直販）	0	2	2	2	3	3
雑貨（委託）	8	１１	１６	１７	１７	２０

【課題と展望】　（担当：浜本）

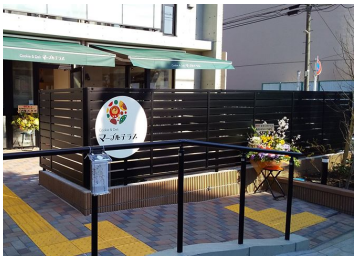
① **商品仕入れなど**：新規にクッキー2 団体・雑貨 2 団体に加わっていただき、より多様な商品をお届けできるようになった。他方、コロナ感染あるいは団体の事情のため数カ月間製造休止や大幅削減の団体があり、工夫しながらの仕入れとなった。今後は、各団体の製造技術等を活かした季節商品づくりにも取り組みたい。

② **ボランティア**：コロナ感染対策で大きな影響を受けたボランティア活動。小児医療センターの方針を踏まえ 2020 年 4 月から活動を休止していたが、7 月に月曜と火曜日の午前の 3 名の方に活動を再開していただいた。他曜日については今後のワクチン接種状況等も鑑み慎重に判断する。

③ **院内の取り組み**：病院をみんなで育てる会主催「みんなの病院の日」（毎年 10 月実施）はコロナ対策のため中止。2021 年度も中止が決定となった。

④ **事務局連携**：「マーブルテラス」勤務のスタッフと ZOOM を使った会議が定例化（週 1 回）。テラスと在庫情報を共有し、それぞれの店舗に合わせた商品提案の力をつけていきたい。

1-3　マーブルテラス



●目的：

障害のある人ない人、ニートも学生もシニアも、いろんな人がまぜこぜで働いて、新たな出会いの場を作る。法人の拠点も兼ねて 2020 年 3 月 19 日オープン。おかし屋マーブルに続く 2 号店。

●内容

・北浦和にあるコミュニティ賃貸マンション「コミューンときわ」1 階にて、カフェ兼障害のある人たちによる手作り商品の「アンテナショップ」として、火曜日から日曜日 11 時～17 時（ランチタイム 11 時半～14 時）に営業

・水曜日、金曜日はおかし屋マーブルにて弁当を販売

・クッキープロジェクトの活動に共感していただいているボランティアと「まぜこぜ」運営

・フリーコーヒーや野菜販売を通して地域の人たちたちとの「まぜこぜ」のきっかけづくり

・コミューンときわ住民イベントへの協力

＜イベント＞

7 月 23 日　ギターレ主催 中村由利子さんピアノコンサートへの協力
9 月 8 日　うりんこくらぶ　ポテトチップス販売
9 月 13 日　旅する象ワークショップ
10 月 10 日　まぜこぜマーブル市
10 月 31 日　コミューンときわ、ハロウィンイベントへの協力
12 月 19 日　BABA らぼ＆コミューンときわクリスマスイベントへの協力
5 月 4 日、27 日　小島家のティーパーティー（紅茶発売イベント）
5 月 7～9 日　おさんぽ市

＜協力者＞

接客や皿洗いなど、現在 10 名のボランティアにご協力いただいている。活動時間は、平日 11～14 時の 3 時間、また、来店者数の多い週末は、12～15 時、14～17 時の時間帯で協力いただいている。ボランティアには、しごと準備講座の修了生、埼玉未来大学の卒業生、主婦、作業所メンバー、作業所職員、会社員等様々な方々に参加いただいている。

＜店舗の売上＞　※外販を除く

	営業日数	お菓子	雑貨	テイクアウト	店内飲食	小計	来客数	客単価
7月	27	230,940	47,296	89,380	194,300	561,916	463	1,214
8月	26	171,894	18,994	74,718	205,090	470,696	383	1,229
9月	26	158,858	82,942	58,870	246,850	547,520	436	1,256
10月	27	226,948	32,227	81,350	333,860	693,210	582	1,191
11月	25	220,285	18,431	80,580	322,942	642,238	560	1,147
12月	24	274,707	36,234	94,305	312,710	717,956	574	1,251
1月	24	172,723	30,472	91,240	209,760	504,195	465	1,084
2月	24	225,660	14,669	136,650	311,670	688,649	589	1,169
3月	26	209,502	10,183	79,860	320,710	620,255	609	1,018
4月	26	240,331	17,700	73,900	373,960	705,891	599	1,178
5月	26	232,664	23,970	91,030	334,929	682,593	585	1,167
6月	26	284,409	18,013	100,280	338,336	741,038	591	1,254
小計	307	2,648,921	351,131	1,052,163	3,505,117	7,576,157	6,436	
月平均		220,743	29,261	87,680	292,093	631,346	536	
一日平均		8,628	1,144	3,427	11,417	24,678	21	

●成果

常時開設している集う場があることで新たなチャレンジができた。小児医療センター患児及び家族との交流、コミューンときわのフリースペースを使ってのオンラインショップ発送業務、福祉作業所メンバーの憩いの場を提供等。

●課題と展望

① 提供メニュー

タコライスとトマトチキンカレーの定番メニューの他に、ナシゴレン、豚のしょうが焼きなどの日替わりメニューも充実しつつある。また、地元農家からお米、福祉農園から定期的に野菜を仕入れるようになったことなどから、季節の野菜を使ったメニュー開発を行っていきたい。3 月からは、スイーツ開発も強化、お茶の時間の利用客も増やしていきたい。

② ボランティア

スタッフが様々なボランティアと出会い新たな気づきを得るだけでなく、ボランティア同士の交流からも新たな出会いを作っていきたい。

③イベント開催

2020 年 3 月のオープン前日に開催した「とき話のじかん」は、21 年 7 月から再開。平日の午後お茶の時間を利用したミニ講座も開催していく予定。イベントの開催に伴い店内飲食、クッキー販売共に売り上げが伸びるため、コロナの感染状況の様子を見つつ、イベントの開催も企画・実施していきたい。

④スタッフ体制

事務局 3 名＋週 1 日勤務のスタッフ 2 名＋ボランティアで店舗運営を行ってきた。当面は現状維持し、他業務と両立できるよう店舗運営を行っていきたい。

２． 障がい児者の社会参加プログラム開発事業

2-1 スタジオ芸芸芸

● 目的

これまでクッキープロジェクトの活動は「半歩さん」（不登校や精神疾患などから自信や希望を失っていた若者）に支えられて来た。彼らが多様な人と出会い、小さな体験を積み重ねることで社会に踏み出していった事例を少なからず目にしてきた。そこで出会った周囲の大人も半歩さんの活躍に元気づけられてきた。半歩さんにマーブルテラスでのしごと体験だけではなく、思春期・青年期の成長に必要な、自己を表現し、他者と共感しあうこと/違いを見つけることのできる、余暇の機会をつくることを目的とする。（中央ろうきんカナエルチカラ助成事業）

● **内容**

① 地域で孤立しがちな人に確実に情報を届けるため、WEBサイトを開設し、チラシ配布や口コミによる、PRを充実させる。

② 半歩さんも参画する「芸・芸・芸会議」を設置する。テーマ・講師（芸・芸・芸人）は、半歩さん自身が表現したいことから設定する。

③ 半歩さんが、出かける練習・失敗する練習ができる、つい立ち寄ってしまう場「スタジオ芸・芸・芸」を定例化する。

④ 近隣住民など、多様な人とまぜこぜになって集い、交流を生み出す。

※ 上記を計画をしたが、コロナ蔓延防止のため不定期の開催となった。助成期間はコロナの影響による変更申請が可能だったため、「2021年３月末まで」を→「2021年10月まで」に延長した。

日付		内容
7月23日	第1回芸・芸・芸会議	やってみたいことを出し合う
8月1日	第１回　ヨガ	芸芸芸人：永島沙織理　参加者：6名
9月5日	第２回　彫る	消しゴムはんこを彫る　参加者：9名
１０月３日	第３回　マーブル市準備	クッキー販売イベントに向け、POP制作をする　参加者：８名
10月10日	第４回　マーブル市	クッキー販売イベント@マーブルテラス
11月14日	第５回　編む	モチーフ編みをつなぎ膝掛を編む　芸芸芸人：山田とよ子　参加者：9名
12月27日	第６回　描き納め	今年の一文字をしたためる　芸芸芸人：五十嵐咲　参加者：14名
4月11日	第７回　シフォンパーティ	誕生日を祝い、米粉シフォンを食べる　芸芸芸人：尾林みゆき　参加者：12名
5月2日	第８回　おさんぽ市準備	クッキー販売イベントに向け、POP制作をする　参加者：8名
5月8日	第９回　おさんぽ市	クッキー販売イベント@マーブルテラス
5月31日	第10回　園芸部	テラスの植栽のやり方を隣人のお花屋さんに習う　参加者：5名
＜参考＞		７月19日テツニバス　8月15日　小さな花火大会を予定

【課題と展望】　（担当：谷居）

・ 半歩さん自身から発せられる「やりたいこと」は、日頃の小さなやり取りから見つけられるのだが、今年度はコロナ禍にあり「出かけるのが心配」「集まるのが難しい」と、なかなか実現に至らなかった。そんな中でも、通い慣れている参加者からの発信で止まり木となる場、まぜこぜになる場を開けたことは意義深かった。

2-2　しごと準備講座

しごと準備講座イメージキャラクター：
半歩さん
もう家にいるのは「飽きた・・・」でも一人では不安で就職活動に踏み出せない半歩さん。しごと準備講座では、仲間と出会い、「しごと」と出会うための「半歩」を応援します。

● **目的**：不登校・ひきこもり・発達障害・精神疾患など働きづらさを抱える若者が、仲間と出会い、仕事と出会うための「半歩」を応援する連続講座・相談会を目指す。

● **内容**

・ 埼玉県With Youさいたま受託事業「働きづらさ･生きづらさを抱えた女性支援事業」として、(1)しごと準備講座(10回連続×2期)と、(2)グループ相談会「しごと準備カフェ」(月1、全10回)の2つを実施。

（１）しごと準備講座

	＜前期＞	＜後期＞
①ガイダンス＆ミニセミナー　講師　古川晶子氏	7/22　7 人参加	10/21　8 人参加
②からだほぐし　講師 竹森茂子氏	7/29　5 人参加	10/28　8 人参加
③パソコン操作体験(3 回)　講師 遠藤ひろみ氏	8/5　午前 4 人・午後 3 人 8/26　午前 4 人・午後 1 人 9/9　午前 2 人・午後 4 人	11/18　7 人参加 11/25　8 人参加 12/2　8 人参加
④おしごと体験	8/12～9/7　計 9 日 のべ 13 人参加	11/16～12/14　計 13 日 のべ 14 人参加
⑤振りかえり　講師 古川晶子氏	9/16　5 人参加	12/16　6 人参加
⑥フォローアップ	10/7　4 人参加	2/24 4 人参加

（２） しごと準備カフェ（グループ相談会）

ふだんじっくり話せないような、生き方や自立について、人間関係・健康上の悩みなどの話を聴き合うグループ相談会。アートセラピーなども取り入れながら、自分らしさを肯定し、自己決定の助けとなる場をめざす。メインファシリテーターは、宇野慶子さん（蒼い空の会主宰）、竹森茂子さん（女性のからだ自立教室主宰）。

日付	テーマ／メインファシリテーター	参加人数
7 月 1 日	大切な 「わたし」～自分を尊重する～（宇野）	8 人
8 月 19 日	「わたし」もあなたも大切にする-居心地のいい場所をつくる-（宇野）	8 人
9 月 2 日	「わたし」ってどんな人？～長所と短所を知る～（宇野）	8 人
9 月 30 日	こころに効く～からだとこころのストレッチ(竹森)	4 人
10 月 14 日	世間の枠にとらわれない「わたしらしさ」を手に入れる　（宇野）	9 人
11 月 4 日	ストレスと上手につきあう　（宇野）	7 人
12 月 9 日	「わたし」の過去と未来-しごとに対するきもちと向き合う-　（宇野）	5 人
1 月 6 日	人とよりよい関係を築く①～きもちの伝え方／さわやかな断り方①～（宇野）	8 人
2 月 10 日	人とよりよい関係を築く②～きもちの伝え方／さわやかな断り方②～（宇野）	5 人
3 月 3 日	ひとり時間をゆたかにすごす　（宇野）	8 人

【課題と展望】

- しごと準備講座は、受講生同士が連続して会う中で励ましあいながら、ゆっくり体験を重ねていくことで自信を取り戻すことができる場となった。出会った受講生で希望する人には、マーブルテラスでのおしごと体験の場を提供していきたい。（担当：若尾）
- しごと準備カフェは、リモート開催も検討したが、その環境がない参加者から、対面で安心して集える場が必要との声があった。月に１度、２時間の短時間ではあったが、継続的開催できることで、彼女らに良い変化があらわれたり、ふと立ち止まれる貴重な場であった。（担当：谷居）

2-3　就労体験（清掃請負）

● 目的

まぜこぜで働く中間的就労プログラムとして、コミューンときわの清掃業務をシニアや障がい者、ひきこもり若者等と実施、就労体験とともに、マンション住民とのコミュニケーションを図る。

● 内容

（１） 活動日：毎週月曜・木曜 10:00～11:30　祝日も実施

（２） 参加人数：１回の参加者３～5 名程度、7 月～翌 6 月までのべ 400 人

（３） 玄関、屋上、階段、廊下、エレベーター、手すり、トイレ、スタジオ、外周、ゴミ溝清掃

【課題と展望】　（担当：若尾）

- お菓子工房 COCO で働いていたメンバーや、しごと準備講座の受講生、おかしマーブルのボランティアなど、多様な人に参画いただき、丁寧に清掃いただいており、助かっている。
- 作業後のささやかなまかないを食べる時間の交流もこのプログラムの楽しみの１つだが、コロナの影響もあり、みんなで卓を囲んでのおしゃべりが難しいこと、緊急事態宣言下では、せっかく毎週参加してペースをつかんだ若者に、活動休止してもらうなど、悩ましい１年だった。
- 最近では、ボランティアさんがおかずやおやつを差し入れてくれて、みんなでシェアして食べる時間がとても豊かだと感じる。もちより食堂の日なども、今後企画してみたい。

2-4　テラスでこんにちは販売（フリー珈琲）

● 目的

障がい者やひきこもり等がまぜこぜで働ける「マーブルテラス」の軒先を活用してクッキーを販売する「テラスでこんにちは販売事業」を立ち上げる。多様な人のつながりのある豊かな地域をつくるため、中間的就労の場を創設すると共に、福祉作業所の商品の販路を開拓する。

（埼玉県福祉政策課しらこばと基金助成事業）

● 内容

（１）中間的就労の実施日とのべ参加人数

	こんにちは販売・フリー珈琲		クッキージャム製造	
	実施日	のべ参加	実施日	のべ参加
7 月	7/18、26	1 人	7/9	2 人
8 月	8/8，12、22、23、	6 人	8/9	1 人
9 月	9/12、19、22、26	3 人		
10 月	10/1、3、４、10、11、13、17、24、31	14 人	10/29	1 人
11 月	11/7、14、21、26、28	9 人	11/12、19、22	3 人
12 月	12/9	2 人	12/13、21	4 人
2 月			2/22、28	5 人
合計		35 人	2/22、28	16 人

（２）地域住民のニーズを事業化しよう研修

10 月 5 日　やどかりの里「エンジュ」配食サービス　現場視察

10 月 10 日「まぜこぜマーブル市」にて近隣住民アンケート実施

（北浦和に住み始めた理由、周辺でよく利用する場所等）

2 月 22 日　先進事例セミナー　「小さな居場所づくりトーク川越・38℃カフェの場合」
講師：合同会社オンド代表　吉田尚平氏

（3）連携・協力機関

NPO 法人うりんこクラブ	8/8 海をつくろうイベントにて、ポテトチップ販売
見沼福祉農園「のらんど」	10/10 まぜこぜマーブル市開催にて野菜販売
芝浦工大松下ゼミ学生	9/26、10/3、10/10 近隣住民アンケート協力
グーチョキパーティ（浦和区中部圏域地域包括支援センター）	毎月第 2 火曜日　地域福祉活動の情報交換会に参加

【課題と展望】　（担当：若尾）

- コロナ禍に地域住民にテラスを知っていただく入口として、「こんにちは販売」は密にならない屋外の活動だったため、有効であった。近所の子どもが、エプロンをつけて手伝ってくれることもあった。ただ、屋外の活動は天候に左右される点は計画が難しかった。
- 芝浦工大の学生とのアンケートか、気軽に立ち寄れる場づくりには、ハードとソフト両面からの敷居の低い「入口」が必要と気づき、先進事例セミナーでは、「入口」をテーマに意見交換した。
- 研修会はコロナの状況が改善せず、予定どおりの開催に至らなかった。（助成金も返金した）

3．　企業の社会貢献プログラム開発

3-1　チャリティ商品企画・外販

● **目的**：

地域のイベントや企業実施のイベント等でのクッキー販売、ノベルティ商品やチャリティ商品の開発を行い、販売拡充と認知度の向上・拡充を図る。

●**内容**：

1．パレスホテル大宮によるチャリティ企画（２商品）

① ホテル特製「シェフ弁当」の販売を継続実施（月 1 回、第４金曜日に予約販売）

② 同ホテル・工房集・マーブルのコラボ企画「夏のゼリーギフト」販売（５年目）、2021 年 6 月より 140 セット販売開始

2．地元イベントや企業実施のイベント等でクッキー販売とノベルティー商品開発を実施

日時	出展/納品	備考
9～11 月	毎日興業イベント用　ワイワイセット	ノベルティ
3 月 19 日	ママケア	ZOOM イベント用
4 月	毎日興業・社員表彰用（メダルクッキー・プチギフト）	ノベルティ

✧　参考：2018 年度・42 件、2019 年度・29 件

3．WEB ショップ（新規）　https://cookiesproject.com/shop/

クレジットカード決済が可能な WEB ショップを HP 内に開設。

クッキーギフト等の販売（10 月、12 月、6 月になかよしギフト各 40 セット販売）

コロナ禍で外販機会がない中、新たな販売機会獲得ツールとなった。

【課題と展望】　（担当：浜本）

①　チャリティ商品：パレスホテル大宮のご協力のもと、2017 年 1 月以来小児医療センター関係者にご愛顧いただいている「シェフ弁当」（月 1 回・第四金曜日）は、コロナ感染予防のため実施以来初の販売休止を決定（休止期間：2020 年 3 月~8 月）。9 月に再開し今年度の通算販売数は 2,195 個（9 月~6 月/計 10 回）1 回あたりの平均販売数は 219/回で前年比 9%減となった。シェフ弁当再開に伴いボランティアも再開。「まぜこぜ」での活動が一部ではあるが実施できた。感染予防のためボランティアスタッフの院内での食事はなしとし、引き続き予防に取り組みながら実施。

②　置きクッキー：2020 年度の実施なし。今後は、小児医療センター院内などの身近な場所への置きクッキーの可能性を検討し、新規の場所を探していく。

③　外販：コロナ禍で外販は壊滅的な状況。今後もしばらくは見通しがたたないため、「置きクッキー」と「WEB ショップ」に注力する。

④　**WEB ショップ**

2020 年 6 月にスタートできた WEB ショップでクレジット決済が可能となった。作業所クッキーの詰め合わせセット「なかよしギフト」を店頭と WEB ショップと販売。今後も、クッキーバザール・オンラインの実施時期・内容を勘案しつつ、「なかよしギフト」の販売を実施する。

3-2　パンフレット作成・講師派遣等

- **目的**：これまでの活動実績やネットワークを活かして、パンフレット作成や講師派遣、相談活動等を通じて、まぜこぜのまちづくりに貢献する。
- **内容**：

１）パンフレット作成等

特定非営利活動法人開発教育協会　機関誌（年 1 回、モノクロ 125 ページ）

２）講師派遣等

日付	依頼主	内容	担当
7 月～10 月	芝浦工業大学学生	卒業研究「まぜこぜ保険室」フィールドワーク	–
10 月 29 日	埼玉未来大学	アクティブコース　活動事例	若尾明子
11 月 13 日	さいたま国際芸術祭実行委員会（市民プロジェクト）	[SACP]ウィズコロナ時代のアートの場づくりを考える⑨「福祉×アート」編	谷居早智世
11 月 28 日	獨協大学法学部総合政策学科	まちづくり特論	若尾明子
12 月 11 日	埼玉未来大学	コミュニティカフェコース　活動事例	若尾明子
1 月～2 月	埼玉未来大学	アクティブコース フィールドワーク	若尾明子
通年	埼玉県共助社会づくり課	共助仕掛人	若尾明子

【課題と展望】

・　活動を広く知っていただく機会として、ひきつづき取り組みたい

４．管理部門

４－１　広報

● **目的**：クッキープロジェクトの活動、関係する団体との連携なども含め、内外で情報共有を円滑にし、発信することで、認知度・信用度を高め会員やファンを増やす。

● **内容**：

・ 年 2 回クッキー新聞を発行、また WEB や SNS（facebook、twitter、instaram、Youtube）にて、日々の活動、イベントの告知や報告の情報発信に取り組んだ。

・ マーブルテラスでは「マーブル市」「おさんぽ市」としてクッキーの販売会を行い、チラシを作成、近隣住宅にポスティングを行うなど、北浦和地域の住民への PR につとめた。

・ 昨年度取り組んだオンラインショップから、オンラインバザールを実施した。

【課題と展望】　（担当：谷居）

・ 対面による交流を大切にしてきた当会だが、非対面で情報共有することを余儀なくされた。そのなかでも心の通う受発信ができるよう心がけたい。

・ 事業拡大にともない、事務局だけで広報を担うには負担が大きい。現状はテラススタッフや、お客さん、協賛企業さんみなさんがインターネット・SNS などで宣伝してくださり助けていただいている。

Ⅱ　その他の事業

なし